

だいにぎ議会だより



まゆだま作り（池田保育園）

一般会計補正予算	(2)
第4回定例会で審議された議案	(3)
一般質問（10人が登壇し、町政を問う）	(4)～(13)
常任委員会報告	(14)

No.
184
平成28年
1月8日

平成27年第4回定例会

全議案原案可決

平成27年度一般会計 3億203万4千円の増額

一般会計補正予算（第4号及び第5号）の主な歳入及び歳出は、別表のとおりです。補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ103億3254万8千円となりま

した。歳入歳出予算のほか、債務負担行為の追加9件、地方債の追加2件及び変更3件がありました。また、国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

では、2016万9千円の減の補正があり、補正後の予算総額は歳入歳出それぞれ30億5565万5千円となり、水道事業会計補正予算（第2号）では、資本的支出が783万1千円の増の補正となり、補正後の予算額は4億1342万2千円となりました。

平成27年第4回定例会が12月2日から10日までの9日間の会期で開かれました。条例の改正、平成27年度一般会計・特別会計補正予算など町長から提出された議案11件を審議し、原案どおり可決しました。また、議員定数等調査特別委員会からは、「議員定数について次期議会に申し送り事項とする」という最終報告がありました。

一般質問では10人が登壇し、町政に対しての質問、答弁が展開されました。

一般会計補正予算の主なもの

歳入	補正額
地方交付税	3,482万円
国庫支出金	△60万4千円
県支出金	8,470万9千円
寄附金	1,400千円
諸収入	1億1,572万2千円
町債	5,212万9千円

歳出	補正額
国有地購入費（創造の森用地）	350万円
選挙人名簿システム改修業務委託料	226万8千円
地域医療介護総合確保基金事業補助金	9,476万円
（仮称）池田保育園整備事業費	3,935万1千円
町掘側溝利用組合土砂撤去工事費補助金	42万円
奥久慈茶販路開拓推進事業費	730万1千円
農産物被害防護柵設置費補助金	300万円
依上小学校校舎照明設備交換工事費	341万3千円
観光振興基金元金積立金	7,000万円
農業用施設補助災害復旧事業費	838万1千円
林業施設単独災害復旧事業費	285万円
庁内ネットワーク論理分離業務委託料	263万4千円

大子町固定資産評価 審査委員会委員に 綿引章氏を選任

大子町固定資産評価審査委員会委員の益子恵氏が平成27年12月25日で任期満了になるため、後任として綿引章氏（池田）を選任することに同意しました。任期は平成27年12月26日から3年です。



第4回定例会 一般質問の様子

提出議案等と審議結果

議案番号	議案名	結果
報告第6号	損害賠償の額決定の専決処分報告について	報告済
議案第91号	大子町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例	原案可決
議案第92号	大子町消費生活センターの組織及び運営等に関する条例	原案可決
議案第93号	非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償並びに証人等に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第94号	大子町税条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第95号	大子町過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
議案第96号	大子町過疎地域自立促進計画について	原案可決
議案第97号	平成27年度大子町一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第98号	平成27年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第99号	平成27年度大子町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第100号	大子町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意
議案第101号	平成27年度大子町一般会計補正予算（第5号）	原案可決
委員会報告第4号	常任委員会審査報告（総務委員会）	原案可決
委員会報告第5号	常任委員会審査報告（文教厚生委員会）	原案可決
委員会報告第6号	議員定数等調査特別委員会報告	原案可決
議員提出議案第11号	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書	原案可決
議員提出議案第12号	青少年健全育成基本法の制定を求める意見書	原案可決
平成27年請願第8号	所得税法第56条廃止を求める意見書採択に関する請願	継続審査

議案の賛否状況

採決に当たり、意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

議案番号	議案名	賛否数		議員名														
		賛成	反対	菊池靖一	櫻岡義信	中郡一彦	岡田敏克	大森勝夫	金澤真人	齋藤忠一	佐藤正弘	鈴木陸郎	藤田友晴	藤田稔	野内健一	藤田健	吉成好信	小林秀次
議員提出議案第12号	青少年健全育成基本法の制定を求める意見書	12	1	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○	△

※○＝賛成、×＝反対、△＝退席、欠＝欠席　－＝議長は採決に加わりません。

議員定数については、議会基本条例に基づき人口、財政状況、町政の現状及び課題、他の市町村との比較並びに将来の予測、展望等を考慮するとの基本方針を踏まえ十分調査研究を行った。

結果、325・76km²の広大な面積を有する本町の地学的見地から、議員を減じることが民意吸収機能の低下に繋がる可能性や、前々回の改選時において3名の削減を実施したことを踏まえた時、当面は現状維持が妥当とする委員の総意があることを考慮すると、定数問題については、来年3月に改選される次期議会への申し送り事項とするものとする。

（原文・抜粋）

**議員定数等
調査
特別委員会
最終報告**

一般質問

移住に対する次の新しい施策は

【答】町有地の有効的な活用を考慮中



野内健一 議員

と農園の事業が終わってしまつと、次の年からまた150人から200人くらいの転出が増えてしまったというところが、この10年間の経緯である。

【野内】政府がいう地方創生とふるさと農園の成功を見た場合、町としては次の新しい施策を考えては。

【野内】 大子町への移住における施策としては、山田ふるさと農園が代表的なものとして挙げられるが、ここ10年くらいの単位で見ただけの場合、どのような状況か。

【町長】 山田ふるさと農園がマスコミ等に取り上げられる前までは、転入・転出の差が、毎年150人から200人くらいの差で進んでいたが、この施策と子育て支援住宅の施策を進めた結果、転入・転出のバランスがほぼとれた。その後、子育て支援をやめ、ふるさ

に空き家を活用した移住促進策が打ち出され、空き家の調査が進行中であるが、これについてはどうか。

【町長】 空き家の調査の結果、735戸の空き家の存在がわかった。今後は、貸



移住策で成功した山田ふるさと農園

してもらえるのか、機能的に使用できる空き家はどれくらいあるのか調査が必要

である。その結果の情報を都市住民の誘致に役立てていきたい。

県北芸術祭への

準備の進行状況はどうか

【野内】 茨城県知事が委員長を務める茨城県北芸術祭実行委員会から、大子町、常陸大宮市、常陸太田市、日立市、高萩市、北茨城市を会場とする「茨城県北芸術祭」を開催するとの発表があったがその内容は。

るのか。

【まちづくり課長】 多くの創造的な地域資源を有している県北地域を、アートの力を介してその潜在的な魅力を引き出し、新たな価値の発見と地域の活性化を図るための芸術祭として開催する予定である。

【まちづくり課長】 準備の進行状況については、芸術祭の管理監督を行うキュレーターと実行委員会事務局の県北振興課とで進めている。町としては、総合窓口としてまちづくり課が担当するが、1部署で賄える事務規模ではないので、各部署の代表、地域おこし協力隊の協力も得て、全町を挙げての体制づくりが必要と考えている。

【野内】 実施期間は9月17日から11月20日までの長期になるとのことだが、紅葉やリンゴの最盛期と重なるなど交通渋滞や宿泊面での問題等も含め、町としての準備はどれくらい進んでいるか。

【野内】 この芸術祭はまだ決定ではないが、3年に1回実施したいとの意見もあるようだが。

【まちづくり課長】 そういった声がたくさん出るように、芸術祭の成功に向けての準備を万全にしていきたい。

一般質問

激しい市町村間競争、危機感は

【答】 激しい現状に危機感を持ち対応



藤田友晴 議員

間400人から450人。少子高齢化が進んでいる中、非常に厳しい将来人口の推計結果も出ている。消滅可能性自治体とも言われている。当然、危機感を持ち町政に取り組まなければならない。

既存企業優遇、企業誘致は喫緊の課題

【藤田】2008年に始まった人口減少による消費・経済力の低下は、経済社会に大きな重荷になり、今後加速的に進むと言われている。多くの地域は人口減少に歯止めが効かない状態にある中、大子町はそれ以上、まさに待った無しの状態であり、状況克服のための政策も激しい市町村間競争になっている。そのような現状をどう捉えているのか。また、町長として危機感はあるのか。

【藤田】現在、高齢化率は4割に達している。県内で最も高い高齢化率であり、介護費などの社会保障が増加する一方で、少子化で社会保障制度の担い手は減り続けると言われている。

金の支給、地域人材育成事業、自治金融優遇策等に取り組んでいるが、更なる雇用支援拡大を図り、利用しやすい制度への充実を図りたい。

大子町には過疎化・高齢化・少子化などの大きな課題があり、その対策・克服のためにも既存企業優遇策、企業誘致は喫緊の課題である。積極的対策を求め

企業誘致についても、市場産品や地域資源活用が図られる企業誘致を積極的に進め取り組んでいる。

【町長】現在、既存企業支援としては、雇用促進奨励

町民アンケートでも、企業誘致に対する要望が圧倒的に多い結果だった。今後、地域資源を活用できる企業誘致に力を入れた

なって協力的体制を取ることが企業誘致の要因の一つになるのではないかと思う。少子高齢化対策のために

も、今後更に既存企業優遇、企業誘致に積極的に取り組んでいきたい。

CO2排出量取引、

J-クレジット制度を

【藤田】大子町はつくば市とのカーボンオフセット協定を行っていた。市町村間協定ということで非常に注目もされていた。町の森林を活かしたJ

も約300ヘクタールある。国の認証手続き、排出量を買う相手方等の課題はあるが、是非実施に向けていきたい。

【町長】つくば市と大子町で地球温暖化対策のための連携に関する協定を結び、緑化基金という形で森林整備を推進したが、平成25年度に終了した。大子町は、町有林だけで



環境美化に集まったボランティアの皆さん

一般質問

支援対象となる教育ローンは

【答】全ての教育ローンを対象に検討



大森勝夫 議員

や、研修を経て数年後に帰郷予定のケースはどうなるか。

【まちづくり課長】定住が条件なので、転出した時点で支援打ち切りとなる。また、卒業した年の12月までに定住した方が対象なので、数年後に定住する予定者は対象外となる。

【大森】将来の学費負担へ

木質バイオマス・ガス発電について

【大森】町の温泉施設は、ボイラー給湯から発電所の廃熱利用による給湯へ変更を検討している。買取り価格の交渉を進めながら方針を決定するべきではないか。

【町長】安く買い取るための努力は当然している。交渉方法は町長の権限なので任せて欲しい。

の不安が少子化の原因の一つと考える。子どもを生む世代の家庭も制度の広報対象にとらえ、3人目4人目の子どもを生んでもらえるよう働きかけられないか。

【まちづくり課長】新たな事業なので、広報について、さまざまな検討をしていきたいと考えている。

【大森】長期にわたり安全な木材が供給されるよう、第三者機関による検査体制を考えるべきではないか。

【町長】伐採場所とストックヤード、さらに焼却灰と3回にわたり検査する。第三者機関までの必要性は考えられない。

【大森】近隣の発電所へ木

材を納入する業者の話では、木材サンプルによる検査を、東電が認めた検査所で毎月実施していると聞いた。検査体制が構築されているのではないか。

【町長】東電と発電業者間の取り決めによるものかと思う。大子の場合も両者の話によってだと思う。

【大森】ガス化による発電は国内に前例がない。モニタリングポストなど安全監視も考慮すべきではないか。

【町長】国の基準をクリアした計画で進めているので、町が検査体制を追加することは考えていない。

【大森】同様の発電所を更に誘致したいと住民説明会の場で聞いたが、進展しているのか。

【町長】町の森林面積からいえば、木材供給は問題ないと考えている。現在1社が立地を希望しているが、具体的に決定しているわけではない。

家業の後継者育成に期待される事業

一般質問

エネルギー協議会の構成は

答 目的外使用から公表は控える



佐藤正弘 議員

受け止められる答弁をしているが大子町倫理条例をどのように考えているのか。

【町長】 大子町の倫理条例の目的は、第1条に書いてあるとおりである。

【佐藤】 企業誘致や働く場の確保は、町の活性化にとって重要な課題である。町有地の貸借契約に関し、だご再生可能エネルギー協議会の構成が示されていないが。

【町長】 公表することによって取引上不利になる恐れがある。公表は控えてほしいという構成員からの声がある。公表することは目的外使用になるので公表を控える。

【佐藤】 企業誘致に関し、倫理条例より優先されると

【佐藤】 9月議会の答弁では、「ちよつと意外な話を聞く、倫理条例の目的は何か、例えば親族が企業立地したいという時、断るのか」等の答弁している。町長の答弁はずれているのではないか。

【町長】 再生エネルギー協議会に関係している議員がいたが、それは倫理条例になんら反することはないということが前提である。

【佐藤】 だご再生可能エネルギー協議会について、利益を追求する団体であり、公共的団体に当たらないのではないか。

【町長】 公共的団体は、収益事業もやっている。人の集まりであって、利益を配分しない。これが公共的団体の特徴である。

立地説明会と施設の安全性は

【佐藤】 木質バイオマス発電の木材供給について、当初町内の未利用材の利用としていたが、説明会では、1、2割町外から入って来ると説明しているが。

【町長】 町内だけの木材しか使わないといった説明は1度もしていない。そういう記憶もない。誰がそういうことを言ったのか。

【佐藤】 木質バイオマス企業立地協定調印式を知らせる地元新聞では、燃料は、

大子町内の未活用木材を利用すると明確に書かれている。

【町長】 最初から町内だけの未利用材を使うとは言っていない。

【佐藤】 企業立地説明会で、「災害時、電力が止まっても発電所があれば発電できる」と発言しているが、町全体の利用が可能なのか。

【町長】 東電の配電網に全てかかっており、条件によつてできる場合、できない場合がある。

【佐藤】 施設の進入路が森林の温泉の利用者の車と合流し、事故等が予想される。安全対策は。

【町長】 譲り合っていない程度の問題はないと考える。一方通行

にするとか、看板、標識も考えられる。

【佐藤】 大子町に設置する施設は、他施設の40ベクレルから、85ベクレルまで可能とされているが、性能を町は確認しているのか。

【町長】 まだ施設ができていないので確認していない。技術的な説明に基づくものは確認している。



安全対策が求められる森林の温泉入口付近

一般質問

企業立地に関する協定書の締結は

【答】経産省、環境省の認可待ち



吉成好信 議員

【吉成】(株)エジソンパワーが立地する木質バイオマス発電所は、国内では初めての立地と聞く。同社が立地したオーストリアでは、既に発電所として稼働しているらしいが、放射能汚染を考えた時、オーストリアには福島原発事故のような汚染地域がないので、原料となる木材を使用しても、稼働している機械からの放射能に関するデータはない。しかし、日本では初めてその機械を使用するので本当に心配がないのか。また、

この機械が政府のお墨付きであって、すべてが認定されたものなのか。オーストリアでは認定されていても日本では大丈夫なのか。

所による廃熱を利用したお湯を提供するというが、提供先の施設は指定するのか。また、施設への提供は無料なのか有料なのか。

【町長】この機械については現在、国の機関で審査をしていると聞いている。もちろんこの発電所としての機能、能力、あるいは環境影響評価等、全て国の機関が法律に基づいてチェックをしている。

【町長】これは有料ということになる。今後、お湯の供給条件、設備投資の経費等、全て勘案した上で提供先の施設と交渉していきたいと思う。

正式には国の認可が下りてからでないと、本体の着工ができないことになっているはずである。当然、技術的な面については、町がどうこう言うそれだけの能力はないので、経産省や環境省の認可待ちということになる。

【吉成】町としては、発電所の原料となる搬入された木材の放射能に関する数値を確認すべきと考える。放射能検査を会社に任せるのではなく、町として検査を実施し町民の安全・安心を守っていただきたい。

【吉成】今後、認可が下りて稼働した場合、町は発電

町には放射能測定器があるのだから、土場や土場の近辺、木材等について、測定期日と数値をしっかりと報告(公表)していただきたい。



山積みされた搬入木材・やな付近

また、放射能の基準が85ベクレル以下ということである。8千ベクレルを超え

てしまうと、普通のゴミではなくなるということも検討に入れてほしい。

一般質問

木質バイオガス企業を誘致すべき

答この企業誘致を成功させたい



岡田敏克 議員

【岡田】 大子町は昭和30年3月31日に1町8カ村が合併。合併当時は4万3124人の人口を有していたが、現在は1万8384人となり、将来の人口推計は1万人前後と推測されている。合併時は誰も今日のような大子町になる事を予想した人はいなかったと思う。なぜそうなったのか。大子町も例外にもれず工場・企業誘致に取り組んできた。これまで企業誘致をすると一部の町民等の反対で進出を阻まれ発展の好機

を逃してきた経緯が多くある。反対した人たちは反省もせず責任すら取らず、都合が悪くなると黙り、それ等の行動が今日の町の姿となったものである。反対したり壊したりするばかりでなく、代案を出すべきである。壊すだけなら子どもでも誰でもできる。仮に感情で反対をするならば余計に許せない。企業誘致を唱える一方で、「もしも」等の理由をつけて反対している一部の町民や一部の議員が騒いでいる町に企業は来ない。昔の労働組合と同じ手法をやめてほしい。今、大子町は大きな岐路に立たされている。今回の木質バイオガスは10年前からオーストリアの

ギュッシング市で成功し、その技術が導入される。放射能については、木材伐採時、搬入時、焼却灰チェックを行い国・県の認可を受けて稼働するもので、町は反対の声よりも賛成する多くの町民、議員の声を挙げて自信を持って進めて



企業誘致の成功を願って

ほしい。

法的に放射能の問題、町民に対し問題や負担をかけた場合、私は賛成議員、町民の代表として、その時は責任をとって辞職する約束をした。しかし、稼働し町の活性化になった場合には、反対した議員は腹をくくって辞職するよう身を

八溝山に観光エリアとトイレ改善を

【岡田】 観光地袋田の滝以外の観光振興として、八溝山を観光エリアとして杉を伐採した後に広葉樹を植えて紅葉時にもみじが眺望できるように一つの景観を利用した観光エリアの計画を立て、大子町の観光誘客に大きなはずみをつけてはどうか。

【町長】 登山道等の杉が大きくなくなって景観が見えない所もあり、広葉樹にすれば景観・紅葉も非常に良いと思う。森林整備計画に位置付けては、という事だが改定する時に十分配慮して対

もって約束してほしい。町は計画通りに進めるのか。【町長】 町で持っている森林資源を有効に活用する事が非常に重要。温泉施設への熱の供給もできるとあって町にはメリットがある。この企業の誘致を成功させたい。

応じていきたい。

【岡田】 八溝山の施設の管理について、トイレが4か所あるが、古くて木造で腐食していてひどい。そして汚い。観光客は嫌がっている。修繕、又は改善を考えていただきたい。

【観光商工課長】 今後検討をしていきたい。また、清掃についても注意をしながら、管理を徹底していきたい。

その他の質問

○イノシン対策について
○役場職員人事について

一般質問

長寿の喜びを実感できる社会を

【答】老人クラブ活動支援を充実する



藤田 稔 議員

提供、行政とのパイプ役も担っていただく考えである。大子57名、依上23名、佐原9名、黒沢61名、宮川30名、生瀬48名、袋田31名、上小川24名、下小川18名となっている。

【藤田】老人クラブ活動の把握や相談体制の充実を図っていくべきではないか。

【福祉課長】会員の減少や役員のみならず手不足等の問題も聞いている。今後は、老人クラブ運営補助に加え、会員増に向けた広報の強化、意見交換会の開催等支援の充実を図っていききたい。

中学校部活動補助金の拡充は

【藤田】中学校部活動補助事業の現状はどうか。

【教育委員会事務局長】1人3千円で今年度から始めた。今年度の実績を精査して増額は検討したい。

観光関係機関の連携で交流人口の増加を

【藤田】今年度のイルミネーション装飾事業（1千万円）の費用対効果は。また、リースか買取りか。

【観光商工課長】費用対効果は算出できないが、町のイメージアップ及び集客力アップにつながると考えられる。約300万円は買取りである。

【藤田】町民の皆さん等の参加が大切と思うがどうか。
【観光商工課長】今年の結果を踏まえて検討したい。

【藤田】袋田の滝ライトアップ事業（400万円）が実施されている。昨年度までの事業と比較して実施状況はどうか。

【観光商工課長】入場者は昨年と比較して3万2265人減少している。開催時期と時間の検討もしたい。
【藤田】町、観光協会、振興公社との連携はどうか。

【観光商工課長】反省会的なものを開いて来年に向けて進めていきたい。

【藤田】自然科学園（高島地内）周辺の整備をして国名勝の散策路としてPRし、管理する考えであったが。

【町長】共有地の皆さんの協力が必要であり、また、県立自然公園でもあるので課題を解決して観光客が周遊



部活動助成費の拡充を

できるようにしていきたい。
【藤田】袋田の滝観瀑施設等の維持保全、修繕費、事故等による賠償の対応は。
【観光商工課長】管理及び運営は、大子町振興公社に、施設の修繕は町で、観瀑施設内での事故は振興公社が保険を加入。それ以外は町の賠償責任保険で対応する。

一般質問

山間地の農業の将来像は

【答】品質の向上と特産品販売促進



金澤眞人 議員

【町長】既にいくつか取り組んでいるが、品質が良く高価格で販売できる農産物、あるいは特産物の販売促進に努める。

【金澤】農山村の景観維持や保全是国土保全の面からも大切と思うがどのように維持保全を考えるか。

【農林課長】現在、中山間地域等直接支払交付金や多面的機能交付金、町単独でも遊休農地景観整備事業や花木果樹産地形成事業などを実施しているが、これら以外の対策なども県や国等に要望していく。

町内の再生可能エネルギーの状況は

発電施設の雇用や税收の状況、さしあたっての問題は。

【町長】メンテナンスは地元の電気業者、道路の補修などは地元の土木業者が対応している。固定資産税は8千200万円ほどの見込みである。

【金澤】雨などによる土砂の流出と河川への影響は。

【町長】土砂の流出については地元業者が補修した。流出防止のダムがそれぞれあり河川への影響は防げる。

【金澤】(株)エジソンパワーによる木質バイオマスガス発電の詳細は。

【町長】木材の必要量は年間1万トン前後、発電規模は1・1メガワット、エネルギー効率は発電と熱利用で50%前後、温泉水を加温するには十分に余裕がある。

【金澤】エネルギーの生産

地としての町の発展の可能性と今後の取り組みは。

【町長】太陽光や木質バイオマスなど町にあるエネルギー資源を活用して雇用や税收に結び付けて地域の活性化につなげていく。

【金澤】BC材の需要が増える事で山主にまで利益が還元されるようになるのか。

【町長】バイオマス発電の誘致の目的の一つは山林地主への利益配分それと山林の荒廃を防ぐことである。

大子町の活性化に対する考えは

【金澤】地方版総合戦略の大筋や方向性は決定したか。

【まちづくり課長】雇用の創出、交流・定住人口増加、少子化・過疎対策、魅力ある地域づくりの4つを基本とし今年度末までに作成する。

【金澤】川の近くにカメラの艇庫の設置を考えてはど

うか。

【町長】国体のカメラ会場が大子町であり整備を進める。

【金澤】八溝山の国有林の間伐や広葉樹林化を要望しては。

【町長】登山道の景観確保のため森林管理署への要望は取り組んでいく。



太陽光発電が地域の活性化に寄与する

一般質問

住民の心配に対して町の対策は

【答】化学的な心配があればやる



菊池靖一 議員

放射性物質が低濃度な森林から伐採、搬出された木材の汚染は低濃度であり、健康に問題はないレベルであるが、風評被害については懸念されている。こうした懸念を払拭するには、適切な基準値等に合わせて検査体制の確立と流通経路を把握できるシステムの早急導入が必要であると報告されている。町は、若者の定住に力を入れているが、評価を上げるためにもしっかりとした対策が必要ではないか。

配しているのではやらない方が良く判断している。

【菊池】大量の木材を消費する発電事業は、原料を集めるために皆伐が増え多くが再植林されずに放置され、土砂災害が発生する危険もある。防止するために、発電事業と間伐を進める森林管理をセットで考える必要がある。

【菊池】木質バイオマスが発電事業について、地元説明会が行われ放射能を心配する声が多く出た。その後、地元区長さんが、安全・安心を守るため町へ要望を出したが検討されたか。

【町長】20〜30ベクレルの濃度の燃料を使用するので放射能について心配はない。化学的な心配があればやるが、風評だけでモニタリングの設置や第三者による管理などはやらない方が良く判断している。

【町長】やれば評価を受ける場合もあるだろうが、大子町だけやれば「大子もの」は心配なんだろう」という風評被害が先に出ることを心



間伐で整備された森林

る必要があるが町の考えは。

【町長】大子町の発電所は、地域森林計画にのっとって伐採した材料しか使わないことになっている。

【菊池】地域森林計画に対して届出の現状は。

将来、町の負担にならない

検討が必要では

【菊池】ゴルフ場施設の寄附を受けるため、9月の議会で分筆にかかる費用が予算化されたが、貸す予定のルネサンス高校との話し合い等どのくらい進んでいるのか。

ある。

【町長】ゴルフ場所有者と太陽光事業者の話が完全に決まっていないので、全然進んでいない。

【菊池】ヴィレッジは100人位の宿泊施設があるので、町内の旅館などの経済効果が薄れる心配もある。営業をやめて丸2年が経っている、高校との話し合いでは修繕費・維持費等ポイントになると思うが、町の将来の負担にならないような十分な検討が必要では。

【町長】ルネサンス高校による大子町の経済効果は大きいということだが、主に宿泊関係ということか。

【町長】寄附していただいたら早急に詰めていきたい。

その他の質問

【町長】宿泊が主だが、いろいろな体験学習もあるので、指導する人たちが、原料の提供などにも波及効果がある。

○大子町あんしん訪問事業について

一般質問

日本一の福祉の町づくり構想は

答 高齢者子育て障害者福祉である



鈴木陸郎 議員

直し充実させている。児童・生徒については、必要に応じてスクールバスの運行で対応したい。

【鈴木】地域公共交通会議は、受益者（PTA、老人会等）の意見が多く取り入れられる審議会にすべきではないか。

【町長】幅広い意見を反映できるようにしたい。

【鈴木】子育て支援住宅、町営住宅の建設計画は。

【町長】頃藤地区に、10から15戸程度の子育て支援住宅の整備を計画している。町内バランスよく検討したい。

【鈴木】町独自の入居条件での住宅を検討すべきではないか。

【町長】子育て支援住宅の下限（15万8千円）の見直しは検討したい。

企業誘致と雇用対策を

【鈴木】企業誘致については、町と民間業者間にルールがない。今後の取り組みについて伺う。

【町長】今回のバイオマス発電事業については、企業と木材供給業者、町の間で交渉ルールがなかった。今後は必要と考える。

【鈴木】バイオマス発電事業者に放射能測定数値の公表を求める考えは。

【町長】測定結果は公表する。

【鈴木】町内在住の就職希望者に就職あっせんをしてはどうか。（八溝山周辺地域定住自立圏形成協定を締結した自治体内の企業に対して）

【町長】周辺自治体の企業等や高校（就職担当）の先生と連携し取り組んでいきたい。

森林セラピーは

【鈴木】森林セラピーについて認定の見通しは。

【まちづくり課長】平成27

年1月に森林セラピー基地認定について、特定非常

利法人「森林セラピソサエティ」に申請。奥久慈憩

いの森と国道118号大宮

バイパスで実証実験をした。実験結果

が28年3月に公表、4月に

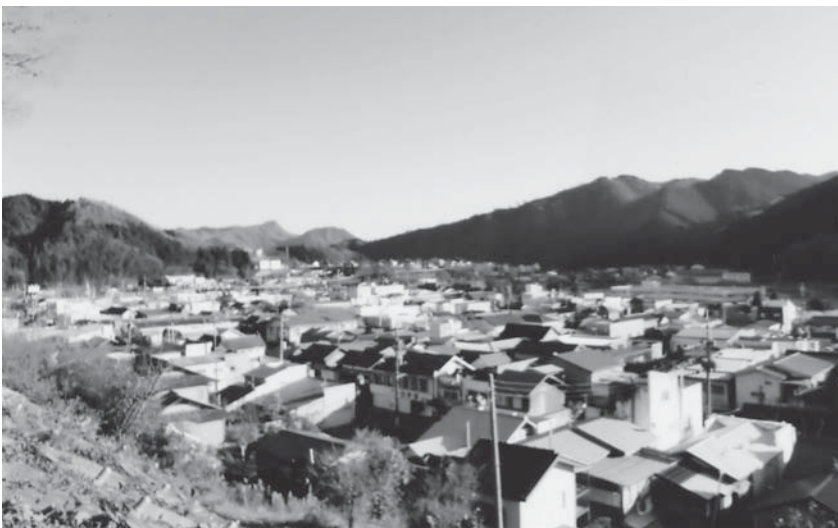
認定される予定である。

【鈴木】認定後の運営計画は。

【まちづくり課長】協議会を設置し活用を検討したい。

【鈴木】東京オリンピック開催に伴い、キャンプ地として立候補しているが見通しは。

【町長】オリンピックのキャンプ地として、ある大使館へ働きかけをしている。（レスリング、重量挙げ等）



過疎高齢化が進む大子街内

常任委員会報告

産業建設委員長
中郡 一彦

去る12月17日に常任委員会合同で、大子町企業連絡協議会との懇談会に参加した。今回は町内の既存企業のトップの方々との懇談をとおして、企業としての考え方や取り組み方、そしてさまざまな御意見や御要望などを聴くことができた。

大子町企業連絡協議会は、建設業を除く20社が加盟している協議会で、正社員とパートなどを含めて、約1500名の従業員を雇用し、本町の経済に大きく貢献し、その果たす役割は重要である。企業であれば利益を求めることは当然であるが、企業の努力も大変であることを伺い、改めて感心した。企業誘致や雇用の創出など、思った成果が上がらない現状の中で、既存企業への支援策など、今後も積極的に進めること

が、本町の経済と雇用を守るためには重要であることを改めて実感した。



町企業連との懇談会の様子

平成28年第1回定例会 開催予定

- ▽2月24日(水) 開 会
- ▽25日(木) ～ 28日(日) 自宅審議
- ▽2月29日(月) 一般質問
- ▽3月1日(火) 一般質問
- ▽2日(水) 一般質問
- ▽3日(木) 逐条審議
- ▽4日(金) 逐条審議

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

小林秀次議員在職35年以上 総務大臣から感謝状授与

平成27年度都道府県議会議員及び市町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式(10月16日)において、小林秀次議員が、町議会議員を35年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功績があったとして、総務大臣から感謝状が授与されました。



呼名を受け起立する小林議員 (写真中央)

★今回の表紙

昔から小正月に五穀豊穡を願って繭玉を飾ったとされています。池田保育園では毎年園児たちが一生懸命

作っています。今年もかわいい繭玉ができました。

インターネットで 映像配信

町議会では、昨年3月定例会からインターネットによる議会中継を配信しています。定例会及び臨時会のすべてを生中継するとともに、閉会後は録画配信も行っています。スマートフォンでも見ることが出来ますので、大子町議会の様子を是非映像でご覧ください。ご覧になる場合は、大子町ホームページからアクセスしてください。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

大子町議会広報委員会

- 委員長 藤田 稔
- 副委員長 金澤 真人
- 委員 菊池 靖一
- 委員 大森 勝夫
- 委員 藤田 友晴
- 委員 鈴木 陸郎
- 委員 齋藤 忠一

あとがき

議会改革の一環として「議会報告会の開催」「一般質問をFMだいで生放送・録音放送」「インターネットでの生中継・録画配信の導入」、さらに、「議会基本条例の制定」など、町民に開かれた議会づくりを目指し、議員一丸となって取り組んで参りました。また、議会広報紙の発行においては、全国町村議会広報研修会等で、他町村の編集技術を取り入れてきているところであります。町民参加が図られているか、読者にわかりやすい文章になっているかなど、今後も読者目線での編集に心がけ、「町民と議会の架け橋」になれるよう努めて参ります。

(藤田 稔)